

アメリカ大学院留学



MBA

•

法科大学院

•

大学院



DREAM ON WITH IGE

www.weexchange.com, www.sportslink.us

IGE留学生の体験談



李彦（イエン・リー）

日本の高校を卒業後、コミカレを経てUCLAに留学。卒業後、Santa Clara 法科大学院（Law School）に進学。

2013年、在学中に司法試験に合格して、ロスの大手弁護士事務所に就職。

2015年より、同法律事務所のシリコンバレー支社長。

IGEは、私にとって救世主のような存在。

IGEは、私がどうしたらよいか途方に暮れていた時、私を大学留学へと導いてくれた救世主のような存在です。

私が留学を考え始めたのは高校生になってからでした。きっかけは英語を学びたかったからです。

実は、私は中国生まれの中国人で、日本に来たのは8歳の時です。日本に船で来る時、知らないおじさんが日本語で話しかけてきました。日本語が分からなかった私ですが、そのおじさんは、とても優しくしてくれました。

私はその事に感激し、日本語をマスターしようと思ったのです。英語を勉強するために、アメリカに留学しようと思ったのは、その時の体験があったからです。

日本の高校に進学し、ワクワクしながら英語の授業に臨んだのですが、授業は受験のためのものだったため、次第に嫌気がさしてきました。そこで、留学について、自分で調べ始めましたが、調査が進めば進むほど、迷路に入ってしまう、どうしてよいか分からなくなってしまいました。

ちょうどその頃、IGE平田社長が日本に来られる事を知り、カウンセリングを申し込みました。そこで、大変魅力的な話を沢山聞き、又、留学の方法についても分かり易く説明して頂き、私のモヤモヤは一気に吹き飛びました。平田社長のアドバイスの基、まず、コミカレに留学し、そこで一生懸命勉強し、UCLAに合格することができました。

UCLAに進学後、自分の進路を弁護士と決め、UCLA卒業後、法律事務所で1年間のインターンを行いました。そして、Santa Claraの法科大学院に進学しました。将来は、アメリカ、日本、中国で国際弁護士をやりたいと思っています。

日本の皆さん、アメリカの大学は本当に素晴らしいです！日本の大学に進学するのも選択肢の一つですが、選択肢にアメリカ留学も加えてください。世界が広がる事を保証します。

法科大学院卒業式後の夕食
日本の両親とIGE平田社長と



アメリカの大学院の特徴

アメリカや世界の各界で活躍している人材は、その多くが大学院で学び、専門的かつ実践的な知識、教養を身につけた人々です。

その分野はビジネス、文化、学術、アート、スポーツ、政治、科学技術、医療、テクノロジー、その他幅広い分野に及んでいます。

世界をリードしている国アメリカの大学院に留学することは、勉強はもちろんハードですが、その結果として留学生にも多くのメリットをもたらしてくれます。

日本では大学院と言うと「研究職や大学教授を目指す人が進む」というイメージが強いようですが、アメリカではそうではありません。以下にアメリカ大学院留学のメリットをご紹介します。

メリット1. 実社会ですぐに役立つ実践的な勉強

アメリカの大学院では 教授が延々と講義するだけの授業は、まず無いのが特長です。ビジネスであれば、現役経営者の講演やそれを基にしたディスカッション、過去実際にあったビジネス事例の研究（ケーススタディ）、企業や団体などでのインターンシップ（研修、実習）、特定の課題を自分なりの視点で分析したプレゼンテーション等々、実社会において自分自身で考え、道を切り開いて行く総合的な力を身につけることができます。

これは、受け身で与えられた知識を勉強する教育とは大きく異なるところです。アメリカでは大学を卒業して社会に出た後も、自分の専門性を高めてキャリアアップするために、更に大学院で学ぶことはごく当たり前のこととして捉えられています。

メリット2. 非常に幅広い専攻分野

日米教育委員会がまとめた、大学・大学院の専攻分野の一覧（→PDF参照）を見ていただくと分かりますが、アメリカの大学院には非常に幅広い専攻分野があるのが特徴です。

例えば「ビジネス」で見えてみると、MBA、会計、財務、サービス業務、人事管理、国際ビジネス、マーケティング、スポーツ運営などが、「デザイン」で見えてみると、「ファッション」、「グラフィック」、「インダストリアル（工業製品）」、「インテリア」など、専門的な職業に直結した数多くの選択肢があります。

従って自分が将来やりたい職業に直結する専攻が、必ず見つかると言っても過言ではありません。アメリカでは、社会に出て必要なことは学校で学ぶという考えが明確で、企業では採用されたら即戦力になることを求められます。日本のように学部や専門を問わず新卒学生を一括採用し、時間をかけて社内で教育するという考えは存在しません。経済や社会がグローバル化する環境下では、今後日本の企業もそのように変わって行くと言われています。

アメリカの大学院の特徴

メリット3. 就職に直結・・・日米の有力企業による就職フェア

アメリカでは大学院卒業生が各界のリーダーとして活躍していますので、卒業後の就職・キャリアアップという面でも、大きな可能性が開かれています。

具体的には大学院の授業では、企業や各種団体でのインターンシップ（実習）がカリキュラムに組み込まれています。また卒業後は、OPT（Optional Practical Training）という留学生向けの制度があり、1年間有給でインターンシップを行うことも出来ます。この様に、就職に向けたプログラムが準備されています。

また、日米の有名企業が毎年日本人留学生を採用するために、ボストンやロサンゼルスをはじめとした大都市で就職フェアを開催しています。

大学院を卒業すると英語力は相当なレベルになることに加え、留学生は高い異文化コミュニケーション能力を身に付けていますので、世界中でビジネスを展開している有名企業にとって、留学生は即戦力として強い採用ニーズがあるのです。

メリット4. 留学生も奨学金や学費の援助を得やすい

アメリカで奨学金と言えば、「Scholarship」と言って学校や団体が提供する返済不要な奨学金のことです。

アメリカには「優秀な学生に奨学金を出す」→「その結果優秀な卒業生が多く出て社会で活躍し、大学の評価が高まる」→「その結果企業や各種の団体から多くの寄付金が集まる」→「その寄付金を活用して奨学金を出し、海外からも優秀な学生を集める」という、好循環サイクルの考え方が定着しています。

また大学院ではTeaching Assistant, Research Assistant, Administrative Assistant と言って、学内で一定時間授業や研究の手伝い、学内業務のサポートなどをすることで、収入を得たり学費の減免を受けたりすることが出来ます。

日米教育委員会の調べでは、大学院留学生（修士課程）の約60%が奨学金や財政的な援助を得て学んでいます。（詳しくは、IGEニュースレター2015年12月号を参照してください）

Boston University大学院
に留学した大出幸子さん。
入学時から卒業まで、授業料は
全額奨学金（授業料免除）



アメリカの大学院の特徴

メリット5. 学校の選択肢が豊富、四大と専攻が異なっても大丈夫！

広大な国土と3億2千万人の人口を持つアメリカには、現在公立・私立合わせて約2,700校もの大学院があり、600校余りの日本と比べて4.5倍もの選択肢があります。

その中にはハーバード、MIT、スタンフォードなど世界的に有名な大学はもちろんのこと、日本ではそれほど有名では無くても、特定の分野では優れた研究・教育実績を上げている大学も数多くあります。

また日本で大学院に進む場合は、大学で勉強した専門分野を更に深めるために進学するケースがほとんどですが、アメリカでは、卒業後エンジニアになった場合でも、数年後にビジネス系の大学院に進みMBAを取得するケースも多くみられます。

その理由は、技術系と雖も、会社などで役職が上がると、おのずと、ビジネス・マネジメントを求められるからです。従って、大学での専攻に縛られることなく、希望する専攻分野の大学院に出願出来るということは、キャリアアップのための多くの選択肢があるということであり、留学生にとっても大きなメリットと言えます。



IGEから贈られた
司法試験合格祝いの時計



UCLAでのパーティ

コミカレ留学からUCLAに進学後、Santa Clara法科大学院に進学。
2013年、在学中に司法試験に合格。卒業と同時にロスの大手法律事務所に就職。2015年より、同法律事務所シリコンバレー支社長。

IGEのアメリカ大学院サービス

皆さまが、アメリカ大学院留学に興味を持たれた時から、合格を勝ち取るまで、IGEでは継続してサポートを行います。

一人ひとりの希望に沿った留学を実現！

綿密なカウンセリングを基に、現地にオフィスがある強みを生かしたリサーチ力と学校とのネットワークを活用し、各留學生の希望に沿った留学プランを提案します。

留学費用をセーブしたい、英語力が低くても入学できる大学を知りたい、奨学金に挑戦したいなど、あらゆる希望を実現することができます。

また、大学院留学ではGREやGMATなどの試験が必要とされるプログラムもあります。GREやGMAT受験に自身のない学生にはこれらの試験を必須としないプログラムの調査も可能です。

● まずはカウンセリング

留学は一人ひとりの人生を大きく左右すると言っても過言ではありません。色々な準備も初めてのことばかりですし、留学後の目標や進路も様々です。IGEは留學生の疑問や不安を取り除くために、経験豊富なカウンセラーが、まず一対一で無料カウンセリングをさせて頂くことが、非常に重要な第一歩だと考えています。

カウンセリングは平日、土・日・休日も行っていますので、遠慮なくお問合せ下さい。
(カウンセリングのご相談はこちら→)

● 出願・・・合否に差がつく、IGEのエッセイサポート！

志望校が決まったら、いよいよ出願の準備です。出願書類、エッセイ、推薦状、その他の書類が必要ですが、最も重要視されるのは「エッセイ」です。エッセイは日米で、書き方の習慣が異なるので、IGEのネイティブでプロ・スタッフが、皆様と二人三脚で進めます。

これには、エッセイのプランニングとアウトラインの作成を経て、実際に書き始めます。この間、IGEスタッフが一緒なので安心です。

● 学校選択のための調査報告書とコンサルティング

アメリカには2,700校余りの大学院がありますので、ご希望にマッチする様、アメリカ本部の現地スタッフが調査を行います。調査は、専攻分野だけでなく、難易度、学費、付近の環境、合格の可能性などを総合的に検討の上、5校前後をレコメンドします。この内容は、詳細な報告書として、皆様に提出します。

この報告書を元に、IGEカウンセラーとともに、出願校を決定していただきます。

IGEの現地サポート

徹底した現地サポートで留学を成功に！

留学は現地に来てからが本番です。「授業についていけない」「英語が上達しない」といった学業面の悩みから、滞在先でのトラブルや生活全般の悩みまで、IGEが現地で親身にサポートしますので安心です。

これが、IGEの留学の成功率が高い理由です。



IGE社長、平田家で毎年行われる恒例のサンクスギビングパーティ
毎年40-60人が集まる。



入学に必要な書類

- 学校指定の願書
- 英文成績証明書
- 英文卒業証明書
- 英文財政能力証明書
- エッセイ
- 推薦状
- 英語力(TOEFL)・・・目安は、PBT550-600/iBT80-100
- テストスコア(GRE or GMAT or LSAT)

留学までのステップ

カウンセリング



調査&報告書作成



志望校決定



出願準備と願書提出



合格



ビザ取得、渡米



大学院留学の費用とサービス内容

IGE大学院留学サービス費用：\$5,000

サービス費用に含まれるもの

- ◆ 3校までの出願作業
- ◆ 入学準備から、合否発表まで、以下のサービスが含まれます
- ◆ 学校リサーチ
- ◆ 学校報告書作成
- ◆ 大学の出願手続き代行
- ◆ 出願前後の学校とのコンタクト
- ◆ エッセイと推薦状の作成の指導と添削
- ◆ アメリカ国土安全保障省発行のSEVIS I-20(入学・在学資格証明書)取得
- ◆ 合格から渡米までのサポート
- ◆ IGE現地サポート（スタンダード・サービス）
- ◆ 24時間緊急時電話サポート／現地カウンセラーによる生活面・学業面のアドバイス／その他、日常生活全般にわたるアドバイス／友達の輪を広げるお手伝い

サービス費用に含まれないもの

- ◆ IGE現地サポート・スペシャルケア（オプションサービス：\$1,500/3ヶ月）
空港出迎え／滞在先までの送迎／街の案内／銀行開設のサポート／携帯電話契約&購入のサポート／生活必需品の購入サポート／三者面談／親への報告／緊急事態の対応／ステイ先や学校に出向いてのカウンセリング
- ◆ 滞在先斡旋費用（オプションサービス：\$500）
- ◆ ビザ申請手続き代行（オプションサービス：4万円）
- ◆ 渡米時の航空券代、および、日本国内の移動交通費
- ◆ 海外医療保険
- ◆ 現地滞在費（ホームステイ、寮、生活費・食費などの私的費用）
- ◆ 学校へ直接支払う必要のある出願手数料・授業料



DREAM ON WITH IGE

www.weexchange.com, www.sportslink.us

(株) IGE アメリカ本部 2082 Business Center Dr., Suite 256, Irvine, CA 92612 USA

TEL: 949-863-1430, Email: info@weexchange.com

(株) IGE ジャパン 〒105-0004 東京都港区新橋1-18-21 第一日比谷ビル5階

TEL: 03-6868-5416, Email: info@weexchange.com
